

みどりの風

山口県自然観察指導員協議会 会誌

山口自然観察会 No.107

2020年 7月(夏号)



私たちは地球生命体の永遠なるいのちを願って活動しています

今後の会議・行事等の予定

第4回役員会 日時 令和2年8月18日(火) 13時～ 秋吉台青少年自然の家

中国五県交流会 日時 令和2年10月3日(土)～4日(日) 広島県 芸北

自然観察指導員講習会

日時 令和2年9月19日(土)～20日(日)

場所 秋吉台青少年自然の家

表紙説明

ケカモノハシ(毛鴨嘴)

海岸の砂浜に生えるイネ科の多年草。葉や茎に白くて柔らかい毛が多く生えています。

茎の先についた花穂は2本がピッタリ重なり1本に見えます。これを手で2本に分けられる様子をカモの嘴に例えたのが、和名の由来です。

表紙写真撮影地等 下関市 6月23日

松田真紀子会員

北浦自然観察会（第6支部） 2020年6月～10月までの行事の詳細

永井要明

- 6月7日（日）長門峡 滝橋～阿武大橋ツルマンリョウ、セッコク、シャクジョウソウ、ヒナランなど
8：00 萩市中央公園集合 8：50 長門峡竜宮淵駐車場
自家用車乗り合わせ 参加費 1000円（現地集合は500円）
- 6月28日（日）長門市三隅高砂 シタキソウ、ヤマゴボウ
8：00 萩市中央公園集合、8：30 三隅インター近くのローソン集合
自家用車乗り合わせ 参加費 1000円
- 7月12日（日）萩市須佐黒崎 ヒメユリ、キキョウ
8：00 萩市中央公園集合 8：40 須佐駅
自家用車乗り合わせ 参加費 1500円（現地集合は500円）
- 8月30日（日）広島県臥竜山、尾崎湿原 サギソウ、シラヒゲソウ等
7：00 萩市中央公園集合、7：50 道の駅「ゆとりパーク田万川」
自家用車乗り合わせ 参加費 2500円
- 9月26日（土）、27日（日）鳥取県氷ノ山、兵庫県玄武洞（柱状節理） 一泊二日
5：30 萩市中央公園集合
バス停院有り 参加費未定
- 10月18日（日）大分県姫島（ジオパーク）5つの火口とアサギマダラ
5：30 萩市中央公園集合
バス定員有り 参加費未定



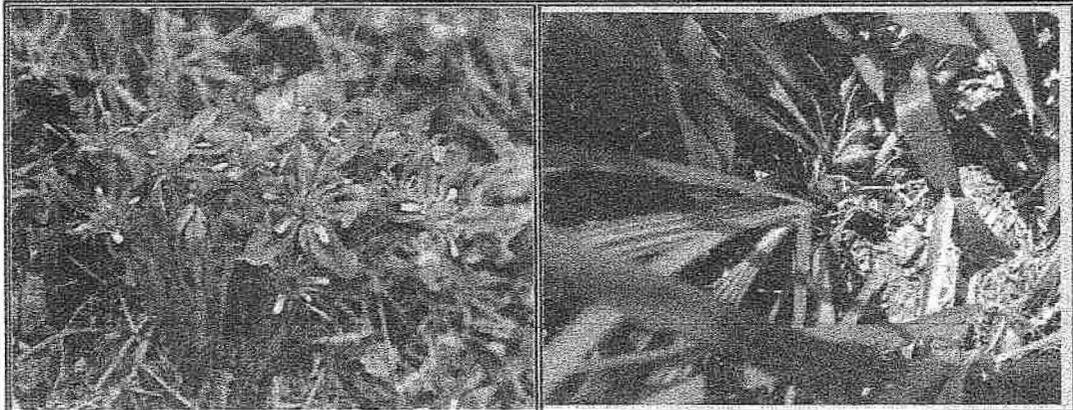
【エコ・エッセイ】 新型コロナで中止されたエヒメアヤメ観察会
種子の散布にアリが一役

第3支部 増野和幸

いつまで続くのか先行きの見えないコロナ感染拡大。生物の原則である細胞という形態を持たず、しかし遺伝情報としてRNA またはDNA は持つ、という生物と非生物の中間的な存在のウイルス。このウイルスがヒトの体内に入り増殖、猛威をふるっている。人類の歴史上かつてないほどの感染と被害を、世界中にもたらしている。私たちの生活スタイルの変更おも強いる事態になっている。

支部活動として、久しぶりに防府市西浦にあるエヒメアヤメ自生地の公開にあわせ、観察会を予定していたのだが、間際になって公開中止となった。さぞかし綺麗な花を咲かせていただろうと推測された。残念である。今から約15年ほど前に、当時の観察会仲間、その頃、保存会のお世話をしておられた丸山一生さん（現在エヒメアヤメ保存会会長）のご厚意で、自生地を訪れたことがある。丸山さんの解説を聴きながら、自生の状況を観察し、見事に咲きそろったエヒメアヤメをカメラにおさめたのだった。

※タレエソウ・誰故にこんな可憐な花を開くのかと賛美した古名
※開花したエヒメアヤメの写真は、丸山一生さんのご好意で提供を受けたものです。



(開花したエヒメアヤメ)

(根元に種子の鞘)

(「HP 「かたつむりの館」 より)

草丈15~25cm、矮性型のアヤメ、山口県内には下関市豊浦町にも自生が見られる。西浦のエヒメアヤメは自生南限地として国の天然記念物に指定されている（1925年指定）。愛媛県で最初に発見され、岡山県から宮崎県までの西日本に生息し、分布の中心は中国大陸。かつて、氷河期の頃、日本列島が大陸と地続きであった頃の証拠を示す貴重な植物とされている。

丸山さんの話では、種子が弾き出る頃、アリ（蟻）が種子を巣穴に運び、アリが種子の拡散に関わっていると、興味深い話を聞いた。いずれにしても、来年は見事な開花を見たものである。

さて、私が日頃ウオーキングをしている河川敷（山口市榎野川）の道端には、この時期になるとスマレが咲き乱れる。それこそアスファルトの割れ目に沿って、わずかな土に根を張って見事な花を開いている。ある日、あまりにも綺麗なもので、可哀想とは思ったが2~3茎、いただいて自宅に持ち帰った。机上の小瓶に生けて数日楽しんでた。日が経ち、

花卉が落ち、中心部分に果実の鞘が生じた。数日すると鞘が3つに裂け、中から粒状の種子が弾き出た。そのうちの2粒をルーペで拡大すると、種子の胚の部分に白色のゼリー状固形物が付着していた。

興味がわいたのでネットで調べてみた。この種子に付着した白色の部分には、「エライオソーム」という脂質や糖分を含んだ、アリが好む香りのある物質があるとのこと。アリはこの香りに誘われ、種子にあるエライソームを得るために巣穴に種子を運ぶ。糖質部分だけを採り、種子は巣穴の外に持ち出す。このようにして、スマレの種子は、アリの力を借りて種子の拡散をしているという。何という巧妙な戦術だろうか。確かに、アスファルトの割れ目に生えるスマレは、いくつもの群落になって生育している。移動できない植物が、弾いて散布する範囲だけでなく、アリの助力を得ていること。凄さだけでなくその巧みに感動。

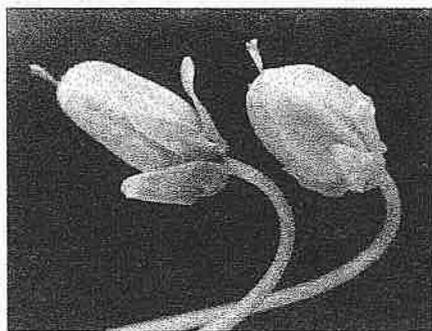
エヒメアヤメやスマレだけでなく、アリの助力を得て種子を拡散している植物には、ほかにもいろいろあるのだろう。

そうそう、私自身では実際に観察したことはないのだが、かたつむり（マイマイ）が植物の受粉に一役買っているという事象がある。オモト、ネコノメソウ、クワズイモなど日陰や湿気のある場所を好む植物。そうした植物の花の上を、やはりそんな場所を生息場所としているかたつむりやナメクジの仲間が、花卉の上を這いながら体じゅうに花粉を付け、受粉の橋渡しをしているということ。これを「カタツムリ媒」とよぶ。ちなみに、以前、かたつむりが花粉を食べ、受粉の仲介役をしているという研究レポートを読んだことがある（「オキナワウスカワマイマイの花粉食」*Venus*, 68(1-2): 55-62, 2009）。

かたつむりによる受粉だけでなく、中学・高校の生物の時間に学んだことのある「虫媒花」「鳥媒花」「風媒花」「水媒花」などというものもある。自然界での“持ちつ持たれつ”の関係、には意表をつく面白いものがあるものだ。



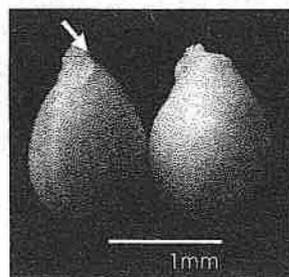
(アスファルトの割れ目に咲くスマレ)



(めしべの先にできた果実)



(3 裂した果実)



(矢印：エライオソームを付けた種子)

夏休みの自由研究にどうぞ

令和2年度山口「環境絵日記」募集要項

1 目的

子どもたちが夏休み等に家族や学校、地域の人たちと一緒に「環境」について考え、調べ、行動し、その経験を絵日記という形で楽しみながら表現することで、自ら家庭や地域で環境に配慮した行動がとれるようになることを目的とする。

2 主催

公益財団法人 山口県ひとづくり財団

3 協力

全国環境絵日記実行委員会

4 応募資格

山口県内の小学生

5 応募方法

(1) 学校又は団体での応募

希望する学校又は環境活動団体等は、別紙『山口「環境絵日記」応募用紙』に必要事項を記入し、応募作品と一緒に、環境学習推進センターに送付する。

(2) 個人での応募

個人での応募希望者はチラシ裏面の下の表に必要事項を記入し、応募作品と一緒に環境学習推進センターに送付する。

(3) 応募締切

令和2年9月18日(金)

6 応募規定

(1) 家族や学校、地域の人たちと一緒に環境について考え、調べ、行動した内容を絵と文章の組み合わせで自由に絵日記を作成する。

(2) 用紙はハツ切り画用紙とし、上半分が絵、下半分が文章(必ず縦書き)とする。下半分の文章部分には、年月日、天気、題名、小学校名、学年、名前(ふりがな)を記入する。(記入例参照)

(3) 使用する画材は自由(絵の具、クレヨン、マジック、色鉛筆など)とし、パソコンでの作品は不可とする。

(4) 応募は1人1作品とし、応募者本人による作品で未発表のものに限る。



絵
文

<記入例>

7 賞

低学年（1～3年生）の部及び高学年（4～6年生）の部に分け選考する。

- (1) 最優秀賞
各1作品 〈賞状、記念楯、副賞〉
- (2) 優秀賞
各2作品 〈賞状、記念楯、副賞〉
- (3) 入選
各5作品 〈賞状、副賞〉

8 審査及び審査結果の発表等

- (1) 応募作品は主催者が開催する審査会において選考し、結果を応募学校及び応募団体に連絡し、入賞者には学校及び団体から賞状・副賞等を授与する。個人での応募の入賞者には結果を直接連絡し、賞状・副賞等を送付する。
- (2) 入賞作品はホームページ等で公表する。
- (3) 入賞作品は、山口県セミナーパーク管理棟1階エントランスホール環境学習コーナーに展示する。

9 応募上の注意

- (1) 応募作品は原則として返却しない。
- (2) 応募に関する経費は応募者の負担とする。
- (3) 応募の際の個人情報 は安全に管理するとともに、入選の連絡等以外に使用しない。
- (4) 応募作品の著作権は著作者に帰属するが、環境学習推進センターと全国環境絵日記実行委員会が非営利目的で応募作品を公表、使用することを承認するものとする。

10 その他

- (1) 「環境絵日記」は横浜市資源リサイクル事業協同組合の登録商標である。
- (2) 最優秀賞及び優秀賞作品は、令和2年12月に横浜市内で開催予定の「環境絵日記展2020」（仮称）会場に展示する。
- (3) 応募者に参加賞を贈呈する。

11 問合せ・応募先

〒753-0893 山口市秋穂二島1062

（公財）山口県ひとつくり財団 県民学習部 環境学習推進センター

TEL：083-987-1110 FAX：083-987-1720

担当：江藤 裕子（E-mail：etou-yuko@hito21.jp）

山ひと財県第51号
令和2年(2020)年6月4日

環境やまぐち推進会議委員 様

公益財団法人山口県ひとつくり財団
理事長 原田 尚

環境学習講座「地球温暖化の現状と温室効果ガス削減に向けた取組」の開催
について(案内)

当財団の事業推進につきましては、平素から格別の御支援、御協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、当財団環境学習推進センターでは、県民の環境学習を推進するため、環境学習団体や指導者等の協力をいただきながら、県民を対象とした、環境学習講座を開催しています。

今回、下記のとおり、環境学習講座を開催することとしました。

つきましては、大変恐縮ですが、貴会会員に周知して下さるようお願いいたします。

記

1 日 時

令和2年7月30日(木) 9時30分から16時30分まで

2 会 場

午前	山口県セミナーパーク 研修棟研修室101 (山口市秋穂二島 1062)
午後	やまぐち県酪乳業(株) (下関市菊川町大字田部夢団地1番) (株) 安成工務店木材加工場・断熱材製造工場 (下関市菊川町田部 155-7)

3 参加人数

一般県民(中学生以上) 30人程度

4 内 容

地球温暖化の現状と対策についての学習と関連施設の見学

<申込・問い合わせ先>
〒754-0893 山口市秋穂二島1062
(公財)山口県ひとつくり財団 県民学習部
環境学習推進センター 担当: 田中
TEL: 083-987-1110 FAX: 083-987-1720
E-mail: kankyo.c@hito21.jp

環境学習講座

令和2年

7月30日(木)

9:30~16:30

地球温暖化

の現状と温室効果ガス削減に向けた取組

締切 7月13日(日)

地球温暖化の現状と温室効果ガス削減に向けた取組について学び、地球温暖化対策・循環型社会づくりの推進についての理解を深めます。

「地球温暖化の現状と対策」

講師 福代 和宏 氏

山口県
セミナーパーク

県内企業の
取組紹介

開会
9:30

講義

昼食
11:30

見学

セミナー
パーク着
16:30

山口県セミナーパークで講義を受講し、
見学施設へはバスで移動します。

参加対象 一般県民 30人程度
(原則中学生以上を対象)
(応募者多数の場合は抽選とします)

参加費 無料(昼食各自)
(中国自動車道美東SA)

- ・施設見学1(下関市菊川町)
「やまぐち県酪乳業(株)メタガス発酵プラント」
 - ・施設見学2(下関市菊川町)
「(株)安成工務店木材加工場・断熱材製造工場」
- ※新型コロナウイルス感染症の発生状況等により予定を変更する場合があります。



講師

ふくよ かずひろ
福代 和宏
博士(工学)



大阪大学大学院工学研究科博士後期課程環境工学
専攻修了

山口大学大学院技術経営研究科教授

中国地域エネルギー・温暖化対策推進会議メンバー

【主催】(公財)山口県みとづくり財団 県民学習部 環境学習推進センター

新高塚小屋が近くなるとヒメシヤラが沢山出てくる（左下）。

16:35にやっと新高塚小屋に着いた。予定より1時間以上遅



れて到着した。ほぼ一日中雨の中を歩いたのでくたびれた。カッパを一日中着たままだったが、その下の服もシャツも靴下も全部汗でびしょ濡れだったので、ズボン・上着・カッパは干すところがあるので干して、下着類は全部着替え、寝間着も濡れていない服に着替えた。さっぱりしたので私は酒類を全く飲まずに良く眠れた。新高塚小屋には私たち以外に4人いた。合計14人でかなりゆったりと場所をとれた。この小屋は60人は泊まれる広さがある。トイレは持参するように屋久島町役場の人には言われたが、普通に用便できる。ポータブルトイレは誰も使わなかった。水も近くにあり炊事にも困らない。さすがに電気はないので、懐中電灯やヘッドランプが役に立った。

翌日は6:00に出発した。僅かだが明るくなってから出発した（上）。

新高塚小屋は標高1460mでこのあたりから巨大な杉が出てくる。間もなく高塚小屋が見えた（次



ページ左上)。高塚小屋を過ぎると間もなく縄文杉である（右上）。

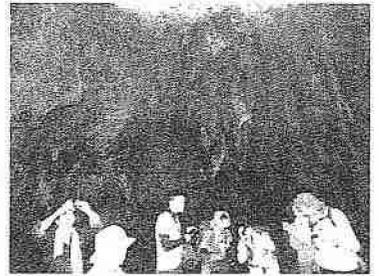
ここで記念写真を撮った（下）。私たち以外はまだ誰もいない。

縄文杉は巨木の森の中にある。この辺りでは直径5m以上の杉の大木が



道から見える範囲だけでも50本以上有る。直径5mとなると樹齢は千年以上だと思う。そしてよく見ると、高さが50m以上の高い木はほとんどない。縄文杉もそうだが、ある高さから上が大風で折れたか、雷にでも当たって枯れたか分から

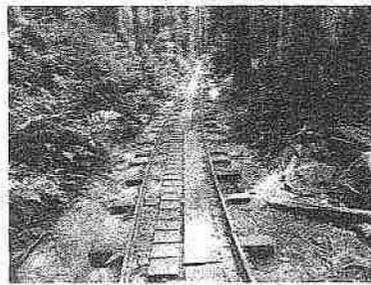
ないが、みんなずんぐりして杉の木らしい形はしていない。有る高さから上がないことが長生きした可能性がある。何故なら重心が低いので風で根こそぎ倒れることがないからである。また、背の高いすらりと伸びた杉は建築用材として優れているので、切り出されて残っていないのかもしれない。ヤクスギの歴史を調べてみないことにはなんとも言えない。このすぐ傍に説明板がある(全ページ右下)。



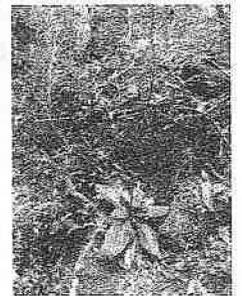
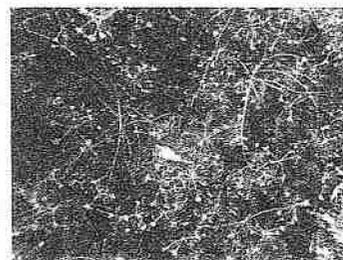
縄文杉の次はウィルソン株である。外から見ると次の写真のような感じである(左下)。中は広く直径8mくらいはあったと思う(右上)。大株歩道入り口に着くと道は急に広がる。トイレもあり飲める水もある。少し休憩して再び歩き出した。この道はトロッコ道で、トロッコは客の少ない時期に荷物を運んだり、作業をしたりするときに使っているそうである。真ん中に板が敷いてあるが、昔はこれがなく、枕木が邪魔になって歩きにくかったそうである(左下)。



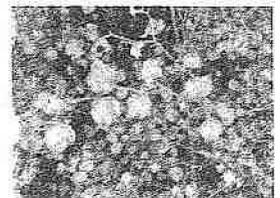
所々に小さな鉄橋がある(右上)。終わり頃に出てきたキキョウの仲間だと思うが、名前を忘れた(次ページ左上)。モウセンゴケが沢



山あった(右上)。サルトリイバラの仲間だがあまりにも小さい。葉は約2cm。サツマサンキライが小型化した物だろうか。



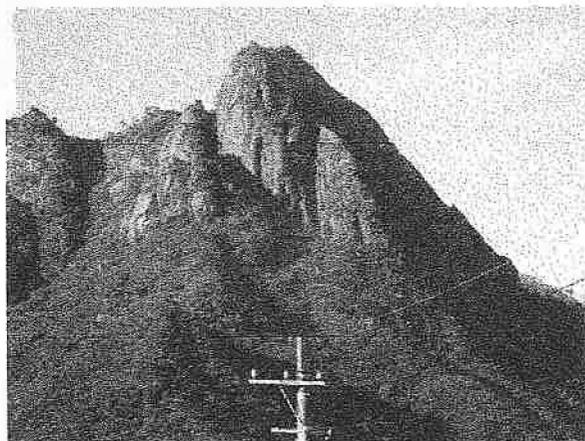
12:50に荒川登山口に着いた。トロッコ道だけでも3時間はかかっている。くたびれた。タクシーで空港近くのトヨタレンタカーへ行き、



レンタカーで安房の「やくどん」という食堂に行って昼食にした。

昼食後は屋久島南西部の大川（おおこ）の滝に行った。かなり大きな滝である（上）。滝壺の下の方ではかなりの風が吹き、水しぶきが散る。

帰りに平内海中温泉で足湯につかった。男二人は全身で入浴した。その後駐車したところで、オオキダチハマグルマを見た（次ページ左上）。次はシロノセンダングサだと思う（右上）。

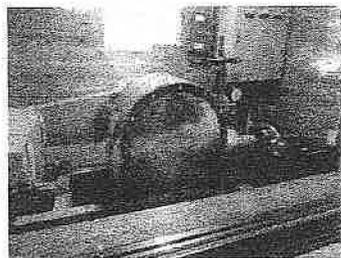


モッチョム岳の写真を遠くから撮った（下）。

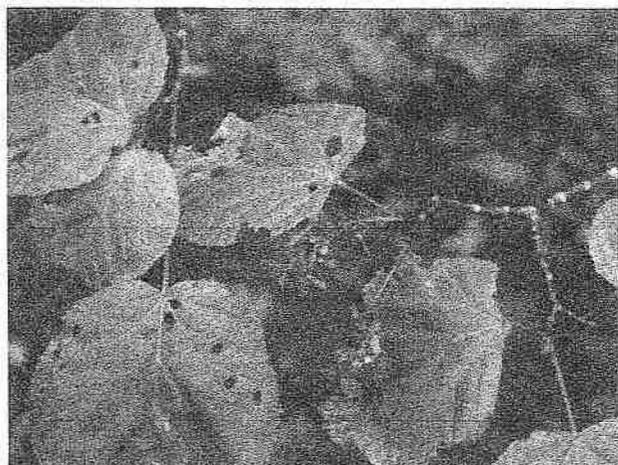
この近くに千尋の滝も有るが、時間がないのでそこへは行かなかった。5：30頃宿舎の屋久島グリーンホテルへ帰った。今回の最大の目的だった宮ノ浦岳と縄文杉の縦走コースを全員が無事踏破したので、夕食は気落ち良く食べられ、

話も弾んだ。私たち以外にも沢山の客がいたが、それでも例年の半分くらいだそうである。

5月の連休中の大雨で、道が流され登山客が山からなかなか帰れなかったニュースが全国に報道され、出控えが起こったようである。タクシーもレンタカーも皆同じで、客不足で嘆いていた。私たちのように中止しないで来た客は大歓迎だったようである。因みに屋久島では縄文杉までを往復する客が多いが、宮ノ浦岳に登って縄文杉を見るコースを縦走する人は、前者の十分の一以下である。そういうわけでホテルの従業員の人もよく頑張ったねと、かなり尊敬の眼差しで見られたと喜んでいる仲間もいた。縄文杉までを往復するよりは、宮ノ浦岳・縄文杉縦走コースの方がかなりレベルが高いことは確かだ。翌日（9月2日）は白谷雲水峡へ行った。入り口に発電所のような施設が有る（左下）。入り口で集合写真を撮った（右上）。

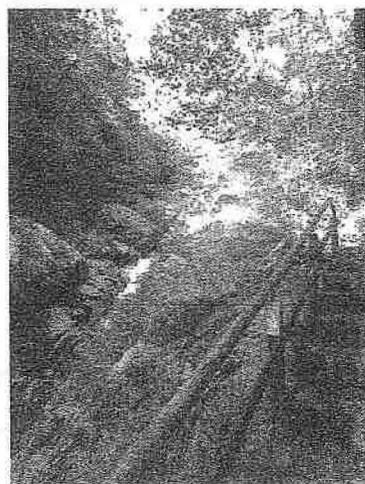


しばらく歩くと岩の上に出た。ここでも記念写真を撮った（左下）。



次は遊歩道から撮った写真である右上)。次はさつき吊り橋から下流の方を撮ったものである（次ページ左上）。帰りに撮った滝の一つである（右上）。白谷雲水峡の入り口の橋から下を見るとヤクシマオナガカエデが見られる。

13:35に屋久島空港を後にした。この日は天気良かったが、屋久島の高い山の山頂付近は雲がかかり見えない。ひょっとしたら、この日もある程度以上高いところは雨が降っていたかもしれないと参加者一同は思った。とにかく無事に終わってめでたしめでたしと言うところである。



環境やまぐち推進会議会長 様

山口県環境生活部長

「ぶちエコやまぐち～CO₂削減県民運動～」について

本県の環境行政の推進につきましては、平素から格別の御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、県では、省エネ・節電など、地球温暖化防止への取組を促進するため、今年度も『ぶちエコやまぐち』を合言葉に、CO₂削減県民運動に取り組みます。

ついては、下記のとおり、『ぶちエコやまぐち』を宣言する事業所を募集しますので、貴会員に対して周知いただくとともに、本取組に御協力くださるようお願いいたします。

また、これまで『ぶちエコやまぐち』を宣言された事業所においては、今年度も引き続き、本取組への御協力をお願いするとともに、取組内容に変更がある場合のみ、提出様式に変更箇所を御記入の上、御提出くださるよう併せて周知をお願いします。

記

1 募集対象

以下のいずれかの取組を行う予定の事業所（企業、団体、学校等）

- ・クールビズ ・ウォームビズ ・エコドライブ ・緑のカーテン
- ・ノーマイカー ・ライトダウン ・エコ活動

2 応募方法

- ・提出期限 令和 2 年 5 月 15 日（金）
- ・提出様式 「ぶちエコやまぐち宣言書」の写し（別紙）
- ・提出方法 下記担当あてにメール、FAX等で提出

3 留意点

- ・これまで宣言された事業所で様式の提出がない場合は、これまでの宣言内容とさせていただきます
- ・宣言書の原本は、事業所への掲示等により、職員への周知に御活用ください
- ・今年度の県内一斉ノーマイカーデーは 10 月 16 日（金）です
- ・ノーマイカーに取り組む事業所には、ノーマイカーキャンペーン期間中に利用可能なバス半額券を配布します
- ・クール&ウォームシェアについては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、当面の間、周知・啓発は行いません

4 ホームページ

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a15500/buchieco/buchiecoyamaguch.html>

2次募集もあります

環境政策課 環境企画班

担 当：郡 島

TEL：083-933-3030 FAX：083-933-3049

E-mail：a15500@pref.yamaguchi.lg.jp

随時募集しています 取り組みませんか

事業所(企業、団体、学校など)の皆さんへ

「ぶちエコやまぐち」を宣言する事業所を募集！！

次のいずれか一つ以上の取組を行うことを宣言して、積極的にCO₂削減県民運動に取り組みませんか。



■時期：通年

■取組内容：冷暖房の適正な温度設定(夏28℃、冬20℃)
夏場、冬場を快適に過ごすための工夫(服装や食べ物・飲み物等)
ふんわりアクセルや車間にゆとりをもった加速・減速による車の運転 等



■時期：5月～9月

■取組内容：事業所において緑のカーテンを設置し、夏季の冷房の使用を抑制
■その他：多数の市町でコンテストを実施しておりますので、積極的に応募してください。
※ 詳しくは各市町へお問い合わせください。



バス半額券あります!!

■時期：通年 <強化月間：6月(環境月間)、10月16日(県内一斉ノーマーカーデー)、12月>

■取組内容：事業所における通常マイカー通勤者のノーマーカーデーを設定(1日以上)
■その他：強化月間中は、バス半額券が利用できます。

※ 強化月間ごとに必要枚数を宣言事業所に送付させていただきます。



■時期：夏至～七夕[クールアースデー]及び12月

■取組内容：夜8時から10時までの2時間程度、屋外照明施設(ライトアップ施設、看板、ネオンサイン、外灯等)の消灯
従業員に対して、職場や家庭での不要な電気の消灯の呼びかけ

※ ライトアップ施設(夜間に建物やモニュメントにされている照明や屋外広告看板、社名看板等の照明施設など)



■時期：通年

■取組内容：買い物にマイバッグを持参、自分で出したゴミの持ち帰り、環境美化活動への参加 等

★1次募集：令和2年5月15日(金)

★2次募集：随時

※ 宣言事業所の事業所名、取組事項を県ホームページに掲載させていただきます。
(掲載が困難な場合は、下記まで御連絡をお願いします。)

【申込み・問い合わせ先】

山口県 環境生活部 環境政策課 環境企画班
〒753-8501 山口市滝町1番1号(山口県庁2階)
TEL : 083-933-3030 FAX : 083-933-3049
E-mail : a15500@pref.yamaguchi.lg.jp
ホームページ : <https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a15500/buchieco/buchiecoyamaguch.html>

詳細は で

令和2年度第3回役員会議事録

日時 令和2年5月31日(日) 10:00~11:00

場所 下松中央公民館

・出席 8名(黒田、大田、永井、平田、増野、松原、脇田、植田)
議題 ①自然観察指導員講習会について9月19日(土)~20日(日)

・地元スタッフ…黒田、永井、平田、増野、松原、脇田、大田、植田

・講師…清末幸久氏(鳥取)、田畑清霧氏(熊本)

・受講申込…8月7日~8月31日

・打合せ(役員会)…8月18日(火)13:00~;予定

秋吉台青少年自然の家

②中国五県交流会について 10月3日(土)~4日(日)

・みどりの風7月号で詳細発表、参加申込

・参加予定…黒田、永井、平田、脇田、大田、植田

③令和3年度総会について

・日時 11月15日(日)10:00~

・場所 アクトビレッジおの

・内容 総会、講話(田中浩会員…哺乳類について)
観察会(鳥類…上原勇一郎会員)

・「みどりの風」編集会議

・その他

○6月21日のカタツムリ観察会…9:30 長者ヶ森集合

《 編集後記 》

夏号をお届けします。新型コロナウイルスに関する緊急事態宣言が解除されて、県をまたぐ移動が可能となりました。各地では、徐々に日常が戻りつつありますが、皆さんはどうお過ごしでしょうか。

9月の本県での講習会、11月の定時総会は第4支部で開催されます。お知らせ等本誌に載せていきます。コロナ禍での過ごし方や身近な自然等の原稿をお寄せ頂くとたいへん参考になります。

梅雨の大雨や第2波コロナ禍等懸念されます。お体大切にお過ごしください。(U)

山口県自然観察指導員協議会会誌
〈みどりの風〉

■発行 山口県自然観察 指導員協議会
会長 大田 和彦
〒744-0043 下松市東陽 2-2-5
Tel(Fax)0833-46-0103

■機関誌編集長 植田 高弘
〒759-6603 下関市安岡町 8-14-21
Tel(Fax)083-258-2706